

OECD Student Ambassador Programme 2016

参加者募集

- いろいろな大学から集うメンバーと力を合わせ、学内外で OECD の活動を PR
- 国際機関の活動に触れながら企画運営能力を磨くチャンス
- OECD 職員や関係者との交流など、成長の機会が多数

OECD Student Ambassador Programme は、選抜された学生でチームを組み、国際機関 OECD の活動に対する理解促進に向けた PR 活動を行うプログラムです。これまでに、OECD 本部から専門家を招いてのセミナーや、OECD の統計データ・報告書の利用講習会、OECD の知見を学生の目線で議論する勉強会、デジタルコンテンツ制作、SNS の活用、パネル他制作物の展示などを実施しましたが、さらに幅広く、既存の枠にとらわれない斬新な活動を期待します。

【プログラムスケジュール】

- 2016 年 6 月下旬 アンバサダー決定、キックオフミーティング
～約 9 カ月間、Student Ambassador として活動～
- 2017 年 3 月下旬 活動終了、報告書提出、終了式



【参加者の声】

「Student Ambassador になったことで大きく成長できたと感じています。OECD だけでなく企業、省庁、大学など様々な方々と関わって活動し、普通の大学生活では考えられない経験をすることができました。大変だと

感じることもありました。打ち込めばより多くのものを得られる活動だと、終わってから改めて感じています。この活動で得た縁を今後も大切にしていきたいです」(2015年、中央大学・阪本圭汰さん)

「チームプレイを経験するためにアンバサダーを始めました。メンバーがみんな優秀で、それぞれの持ち味を持っていたことが特に良かったです。少人数なのでフットワークも軽く、刺激的な毎日になりました」(2014年、早稲田大学・藤田知樹さん)

「企画を考えたり形にしたりするのは想像より難しかったです。普段触れることのない大きな規模の組織や社会とイベント等をすすめた経験は、私たちに学生としての限界を感じさせたこと以上に、その限界を友人や大人たちの協力で壊すこともできるのだと実感させてくれました」(2015年、同志社大学・神吉省吾さん)

【応募のきまり】

- 応募資格：大学の学部・大学院に在籍する学生
- 締め切り：2016年6月26日(日)必着
- 応募方法：以下2点をメールで tokyo.contact@oecd.org まで送付
 - 1) 自己紹介 (A4用紙1~2枚程度、書式自由)
氏名、所属、連絡先は必須。その他、学習/研究分野、趣味、課外活動、特技、これまでの経験などの情報を歓迎
 - 2) 応募の動機 (A4用紙1~2枚程度、書式自由)
OECD Student Ambassador Programme 興味を持った理由、活動で取り組みたいことなど

【選考について】

5~10名程度を選抜予定。基本的に書類審査のみ。必要に応じてインタビュー実施。6月30日(木)までに応募者全員へ合否を連絡。

【参考情報】

- OECD 東京センターウェブサイト www.oecd.org/tokyo
- OECD パリ本部ウェブサイト www.oecd.org
- OECD iLibrary www.oecd-ilibrary.org

問合せ先：OECD 東京センター tokyo.contact@oecd.org

一橋大学経済学部・経済学研究科 グローバルオフィスより

OECD Student Ambassador Programme 2016 に関する詳細は、上記に問い合わせさせていただきたいのですが、当方で提供できる情報もありますので、ご興味のある方はこちらに連絡してください。

グローバルオフィス

(マーキュリタワー3階、3301)

木村貴子

E-mail: t-kimura@econ.hit-u.ac.jp

Tel: 042-580-9076